

# 傍聴席

## 3月議会を傍聴して

N.Y

一部マスコミでも報道されていきましたが、今回の一般質問から議会改革の一環として、一問一答方式が導入されるとのことでした。従来のやり方では、「質問回数が限られ、突っ込んだ質問ができない」、「質問と答弁の間隔が長く傍

聴者に分かりにくい」などの問題点があったようです。従来方式の時の様子はよくわかりませんが、今回傍聴した限り、議員の質問やそれに対する理事者の答弁は、歯切れ良く非常にわかりやすかったと感じました。今後、緊張感のある活発な議会が期待できるように思います。

一方、傍聴席ですが、傍聴に来られていたのは、私を含めて7、8人といったところでしょうか。たまたまそうだったのかもしれませんが、少し寂しいような気がしました。



# 町民の声

## 住んでよし、訪ねて楽し 松前町

南黒田 鷲野共次郎

私たちが、言訳をする時に最も多用するのは、「知らない」「聞いてない」というフレーズだと思います。単独で発展してゆくこととなった松前町の「夢ある町づくり」に参加しようと、まずは知ることから始めねばと考える。町議会の傍聴に出かけました。

思うに、行政も町議会も町民の声を正確に取り上げ、政策や事業に反映することが最大の課題でしょう。マイナーな声を見落とさない優しさも求められます。町民の声を一つにまとめ町政を押し進める

には、目標が明確で具体的であること、施策が公正であること、経過が透明であることが必要です。町議会は、最終日の全体会議でしたので、40議案が上程され、次々と可決されていききました。私たちの生活に密接なことばかりでしたが、なんと「知らないかった」ことの多いことでしょう。行政や町議会が発信する情報を、どれだけ真剣に受けとめて反応してきたかを反省しました。ささやかでも、私たちの松前町がめざす「夢のある町づくり」に参加したい。でも、なかなか意見を述べたり、行動を起こすことができない。多くの方がそんなふうを考えているんだろうなあ、と思います。何かからでもいいから始めましょう。町議会の傍聴にも出かけましょう。広報まさき、議会だより「まつかぜ」、社協だよりも、もう少し丁寧に読みましょう。「松前町の行政改革」も読み直そう。始めれば、何かが変わるかもしれない。そんなことを考えた一日でした。

